

質問No.	質問	回答
1	本事業において、過去の事例はあるのか。	新規事業のため、過去の事例はありません。
2	新設のスタジアム・アリーナの構想はあり、建設することも決定しているが、施工はこれからである場合、将来新設のスタジアム・アリーナを活用したまちづくりに資する取組の検討・実証のため、既存のスタジアム・アリーナを実証に利用するのは、今回の事業の対象となるか。	対象となります。 ただし、既存のアスタジアム・アリーナでは、本事業での実証のみを行って取組が終わるのではなく、本事業で検討する中長期的なまちづくり計画に含めるなどにより、引き続き当該既存のスタジアム・アリーナを活用したまちづくりの取組が続けられることを想定しています。
3	実証の取組み自体も契約期間内に完了しなければいけないのか、もしくは中長期計画の中でファーストステップの実証を契約期間内に行えばいいのか、スケジュール感を教えてほしい。	本事業では、中長期的な計画を策定していただき、契約期間内に実証の取組を行っていただくものであり、計画にある一連の取組のファーストステップとして行うことでもかまいません。また、効果検証に関しては、実証の取組みの関係で次年度になってしまうことも想定しています。委託費の関係で、契約期間後に発送料等の事務費が発生してしまった場合は、申し訳ありませんが自己負担でお願いいたします。
4	アプリを開発し、それを活用してまちへの回遊を促したり人流を分析したりするなどの実証を行うことはあり得るかと思うが、今回の事業ではその費用は対象となるか。アプリの開発は他の補助事業だと資産性が残るため対象にならないということが多いことから、確認したい。	アプリの開発は対象となります。例えば、アプリの開発に係る人件費や通信運搬費等の費用が考えられますが、事業者側に資産として残り、かつそれに伴って利益が生まれたとしても、本事業では対象になりえます。ただし、そのアプリを活用し、スタジアム・アリーナやプロスポーツチーム等を核としたまちづくりに資する取組を行うということが前提です。
5	4の質問に付随して、その開発したアプリを今年度の契約期間中に活用して実証を行った後、次年度以降もそれを使っていくことは問題ないか。今年度限りで破棄しなければならないのか。	まちづくりに資する取組みにそのアプリを継続して活用していくのであれば、次年度以降も活用していただいて問題ありません。

6	企画提案書を作成するにあたり、内容を補足するために画像や図などを資料に含めても差し支えないか。	差し支えありません。
7	1件あたり15,000千円を上限とさせていただきますが、こちらは当社が行う本公募における事業費でしょうか？それとも今回の支援金の上限でしょうか？また本件は申請金額の何割が支援対象になりますでしょうか？	本事業は、既存のスタジアム・アリーナ単体の活用ではなく、他の施設やインフラ等の整備・活用と併せて行うことで、面的なまちづくりに資する構想の策定や活動の実施等の取組みの先進的な事例を創出していただく委託契約となります。 補助金とは異なり、申請金額の何分の何が支援対象となるというわけではございません。 よって、委託費の上限額が1件あたり15,000千円、それを超えた分はご負担をお願いいたします。
8	企画提案書内の「地域の官民連携による検討体制に関する項目」内の該当するものがない場合は空白でもよろしいでしょうか？	本事業では、公募要領にもあるとおり、主要な官民のステークホルダーの参画を得ながら、スタジアム・アリーナと他の施設やインフラ等をより総合的・複合的に活用した、十分なエリアマネジメントの下でのまちづくりに資する中長期的な構想又は具体的な行動計画を策定することが目的となります。 企画提案書内の「地域の官民連携による検討体制に関する項目」内の該当するものがない場合は空白でも問題ございませんが、空白ですと、現状が技術審査委員に伝わらないため、現在どういった動きをしているのか、どういったお考えをお持ちなのか、これまでの調整状況など、現状を御記載ください。
9	「経費予定額」も該当する項目の記入で問題ないでしょうか？	該当する項目のみの記載で問題ございません。